

ほぼ文面で申し訳ないのですが、資料その1です。

微生物のいる生活、微生物って面白い、を伝えたいです。

現代に微生物インフラを足した世界観で、微生物をモチーフにしたゲームで遊ぶ子供を使って物語を展開します。

まず最初に相談お願いごととして、みなさんに頼りたい内容を示しています。

端的に言うと調査手伝ってください、頭を貸してください、という内容です！

キャラと各シーンのマスターカット（各シーンで核となるキービジュアル）がまだです。

この後キャラのビジュアル→バトルのビジュアル→設備や町並みのビジュアルを定めていきますので。

最終的に48、64ページのネームで核の絵はそこそこ描き込んだものを作ろうと考えています。

本資料は分かりにくいところが多々あると思うので、ビジュアル化を少し待ってもらってもいいかもしれません。

目次

相談お願いごと

概要

舞台と時代

インフラ整備について

微生物の家庭料理

微生物インフラの街での利用

微生物バトルシステム

サービス基盤のイメージ

主な登場人物

ストーリーライン

ストーリーライン概要

プロット

相談お願いごと

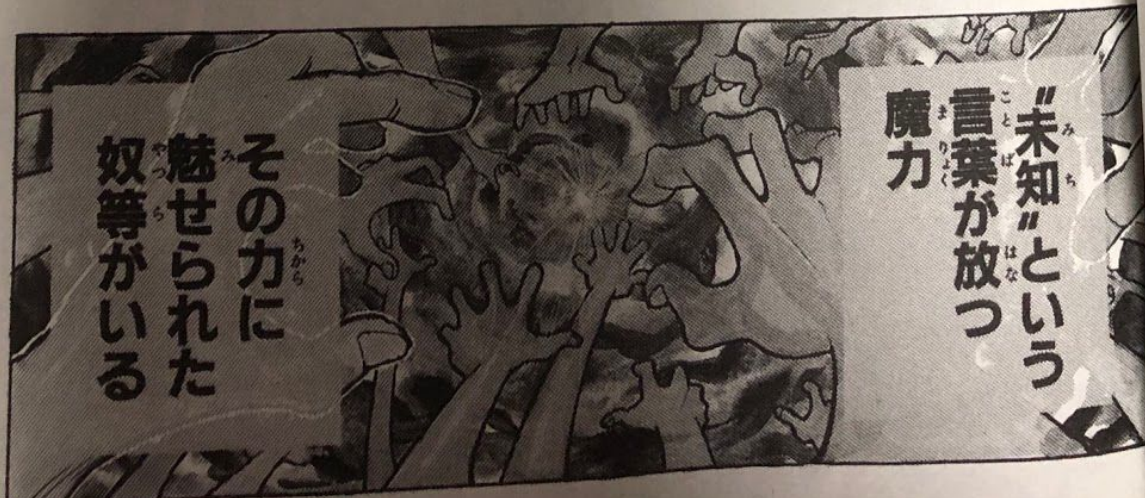
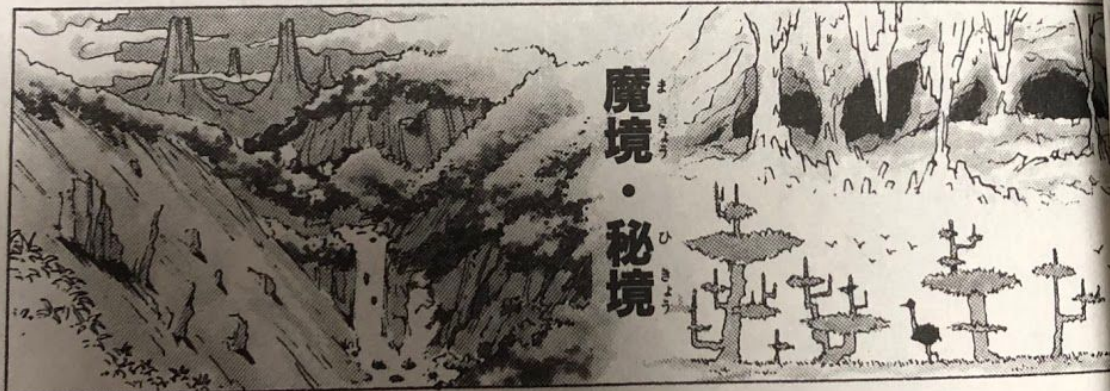
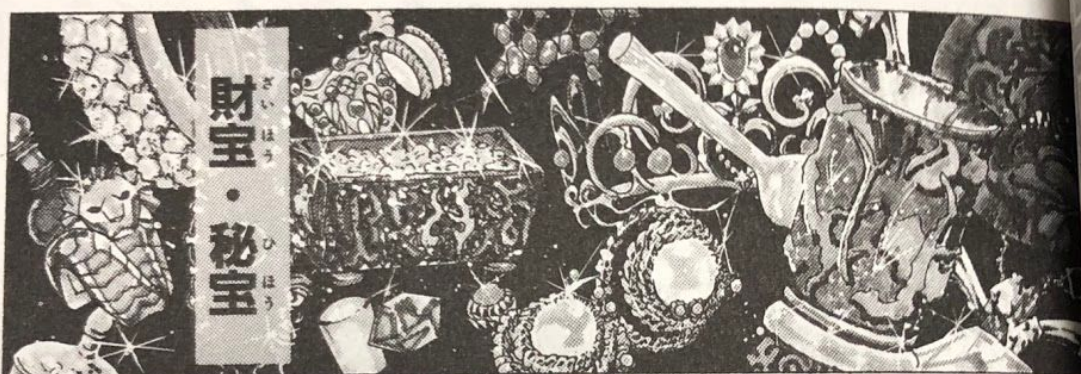
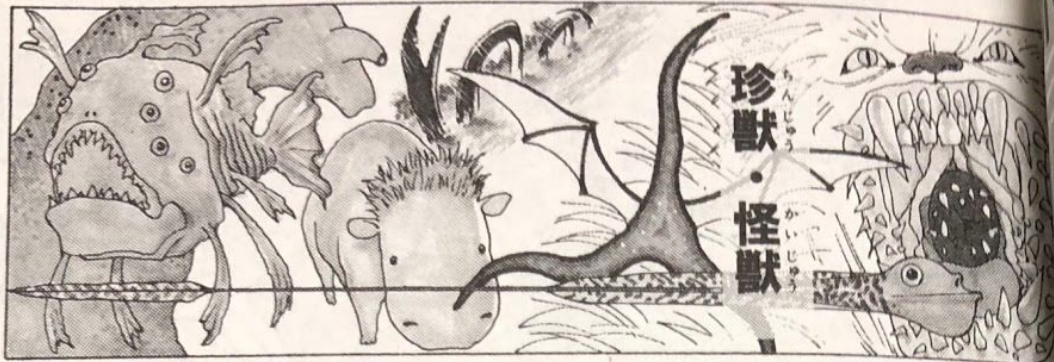
・導入で使う文面の考案

→微生物って身近にこんなにたくさんいて、でもよくわからなくて、面白そうで、と言ったことを伝えたいです。

ちよいと違うのですが、ハンターハンターだとこんな感じの冒頭で使う文面が欲しいな、と。キャッチコピー考案ですね！

華→極限環境/影の主役/爆発的増殖力/遺伝子変異/微生物ハンター（未知の菌を培養する人のことを言ったりします。「追跡!辺境微生物—砂漠・温泉から北極・南極まで」単行本）

No.001 ◆ 出発の日





・微生物の家庭利用のアイデア募集

→家電に僕の妄想で機能追加してるレベルが今です。そんなの出来るか、と言ったアイデアやこのような理屈で可能ではないか、と言った本格的アイデアまでもっと欲しいです！今の家庭生活をこのお話の中では変えてみたいので！

華→妄想ですが家の外壁に一本のラインで光合成微生物が生育する液体が流れていて、太陽光から石油を作っている。そのまま回収工場に回されて自家発電。または、太陽光で光合成微生物が生育して、それを食料(スムージー)にする。これはクロレラとかすでに製品になっています。これを身近にできるといいですね。ヨーグルトは家庭で牛乳と乳酸菌で自家製で作れますから、同じように、味噌メーカー、醤油メーカーなどできて気軽に家で家庭の味を作れるような家電ができるようになると面白いですよね。

・微生物の小話の募集

→物語中のニュース、学校での会話で使う。プロットだと微生物で若い見た目を保つというお話が一例。他にも何かあれば差し込みたいなど。面白おかしい小話大募集です！

華→若い人の腸内細菌カプセル、ダイエット用の腸内細菌カプセル（脂肪分解微生物や糖分分解微生物が入っていて、人が使うエネルギーを横取りしてくれるので、食べても太らない）とか。近いうちできそう。

・微生物で環境問題、エネルギー問題を解決するならどんな感じになる？

→街のデザイン、インフラ周りや世の中での微生物利用場面に具体性を宿したい。今は光合成微生物を街に張り巡らせる、というレベルのことしか示せていないので。

華→東京を歩いているとすごく下水臭いんですよね。マンホールの中に臭い分解微生物を固定した微生物製剤みたいなものを撒けるようになる（お風呂洗い材などに何か家庭で排水するような物に、すでに微生物を混入されているような製品があれば、わざわざマンホールに蒔かなくても良くなりそうですね。

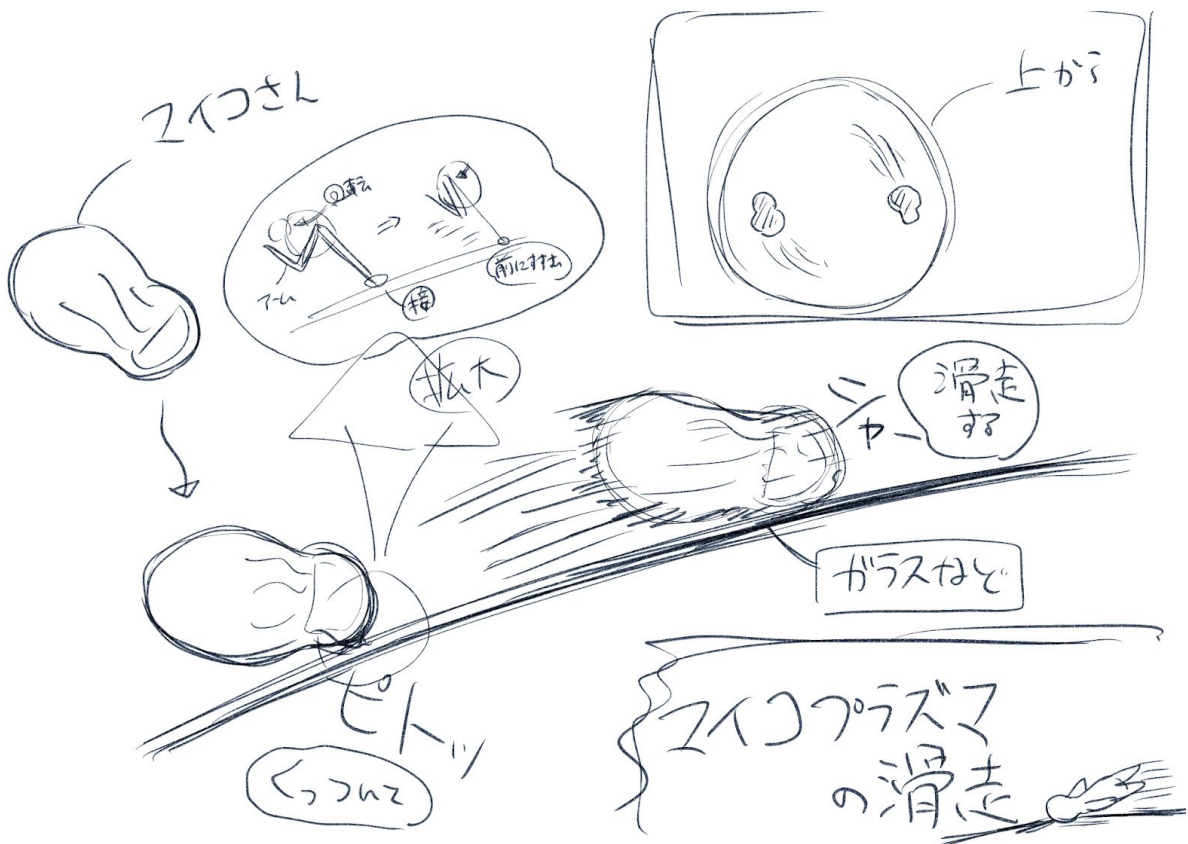
・微生物の特性特徴機能や面白い振る舞い、レアな微生物情報などの情報求む

→微生物バトルで使うアイデアです。微生物のトンデモ生態を、オーバーにバトル化させようと考えてます！

華→マイコプラズマという肺炎を起す生き物、動き方が独特です。

<http://www.jbsoc.or.jp/seika/wp-content/uploads/2013/11/81-01-06.pdf>

中⇒こんな感じですかね。確かにこれ遠隔攻撃で見立てて使ったら面白そうです（笑）



華→病原菌攻撃、重症化での強さの度合いを戦っては？

<https://www.asahi.com/articles/ASJD92W0WJD9UBQU00C.html>

<http://www.kagoshima-vet.com/Animal%20Health/Pathogen.pdf>

・微生物バトルの名前考案

微生物バトルってあまりにもまんまなので、何か名前を決めたいです。

華→デスバトル 過去の微生物感染の死者数を調べて見ると歴史に基づいて強さづけできるかも

世界最強の毒素をだすボツリヌス菌とか、かなりの強さになりそう。出す毒素の比較とかでも面白いかも。でも学生が夢中になるにはちょっと暗いですね。。男子用？

中→歴代病原菌で、猛威を振るったものを強く設定する。これは学びがある感じもあって、コミカルにできればうまくいきそうです！

華→極限バトル 地味だけど、温度とか、塩濃度とか、pHとか

<https://ja.wikipedia.org/wiki/極限環境微生物>

中→環境情報もコントロールできるゲームに仕立て上げられれば面白そうですね。プレイヤーがゲームフィールドの温度を変更するアイテム使って、相手の微生物を一掃するとか。

・微生物バトルの具体性を定める

具体的に定めなくとも物語上問題ないのですが、具体的にゲームの仕組みなどを定められると付録で面白いかもなど。技術的にそこまで不可能ではないのがこのゲームなので。

・放射線と微生物の掘り下げ願

ライバルの転校生Cが原発の後始末を微生物で、という志を持っています。

微生物の中で放射線をもろともしないものがあるのだとか。

ちょいと飛躍しますが、そこ周辺の理屈が足せばと思っています。

華→参考情報

https://sangakukan.jst.go.jp/journal/journal_contents/2013/07/articles/1307-03-1/1307-03-1_article.html

(のちの相談 セリフ、キャラなど)

今後ネームに起こしていき、セリフが入ってきます。その際にセリフにツッコミ入れてもらいたいです。

キャラについて。

この後キャラのラフを作っていきます。ぜひ名前やもうちょいこんな感じにしません？と言ったアイデアください。

概要

水道、電気、ガス、電子情報（インターネット）に次いで微生物がインフラとして機能する世界。

各家庭に微生物が供給され、街では微生物インフラを活用した設備や施設が機能している。

華→ドラゴンボールの、小さなカプセルみたいな雰囲気のものに、微生物が入っていて、ヨーグルト用（現在市販されているもののような感じで複数種類ある）、味噌用、足の臭い対策用、花壇用、ペットのトイレ用など気軽に選んで使える。

微生物インフラを活用した様々なサービスが展開されている。

微生物サービス提供側は教育や遊びにも力を入れており、中でも「微生物バトル（仮）」にみんなは夢中だ。

微生物バトルとは、身体を使ったARゲームで、微生物の特徴をオーバーにキャラ化、アイテム化したものを使って戦う遊び。

微生物バトルに精を出す小学5年生の女の子が主人公。

物語は7月上旬の微生物バトル小学生の部県大会決勝にて主人公が敗北したところから始まる。

舞台と時代

現代に微生物のインフラを追加した世界観を描く。
よって基本的な町並みや服装等は現代と同じ。

今の生活に微生物が活かされることでどう変わるか、それを生活そのものを書いて伝える狙い。

また微生物バトルという遊びで、
微生物の特徴や面白さを伝えようという狙い。

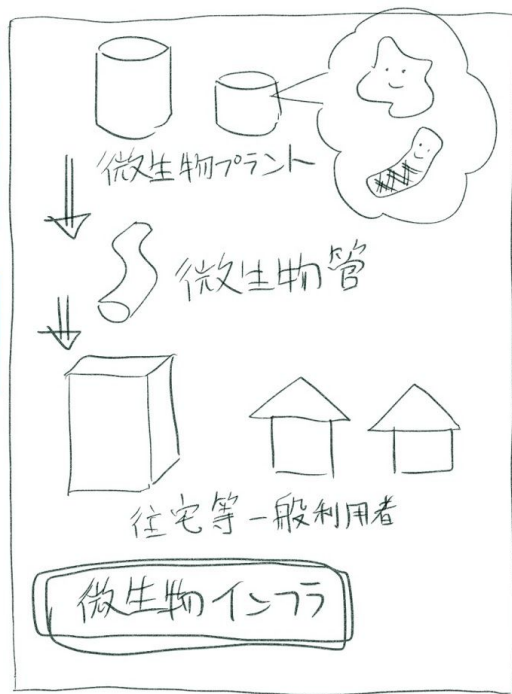
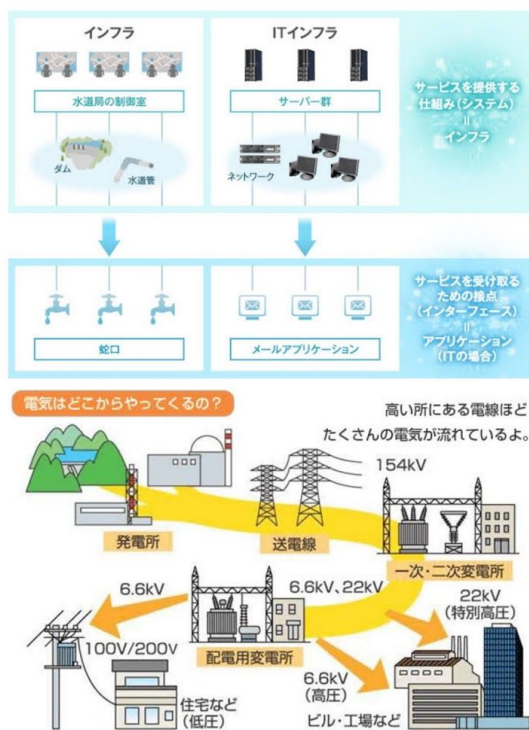
物語と微生物

ストーリーとしてはシンプルな井の中の蛙が次に進むお話。
キャラを使って様々な道があることを示す。
夢や目的がなければいけないのか、という問いになればというお話。

舞台やキャラの発言で微生物のビジョンを伝える。
ディテールを追加する形で微生物を伝える手法を取ります。

今回研究学園を舞台にします。
とかいなかで、研究者が多く住んでいる、そんな街です。

インフラ設備について



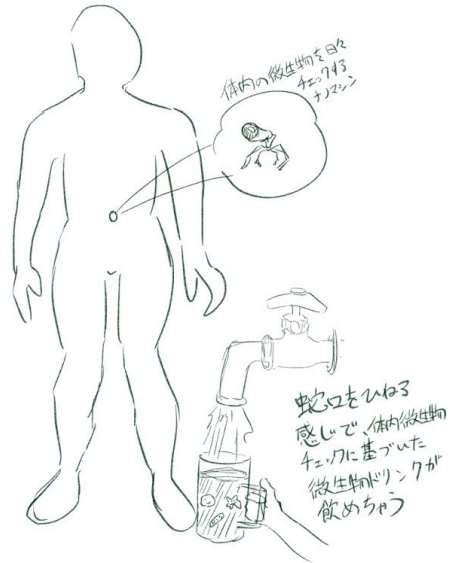
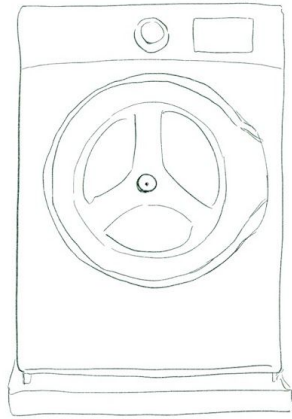
水道に近いシステムをイメージ

華→管の中に微生物がフィルムを形成して詰まってしまうので、現実的ではないです、カプセルのような物に用途に応じて、色鉛筆のケースのような中にずらっと並んでいて、そのセットが各家庭に当たり前にあるという方がそれっぽいですね。食べる用、庭用、ペット用、お風呂に撒く用とか、用途に応じて細かに色々ズラーっとあったらカッコいいかも。光合成微生物なら管に通して供給するというのはいりかも。

中→スムージーのところに追加したい情報です！！ありがとうございます！

微生物の家庭利用

洗濯機にも微生物を
活用。イヤニオイの元
を取り除いてくれる。



生乾き貝をつくるのも微生物。
そこで微生物の活用、アミノ酸
ですが。





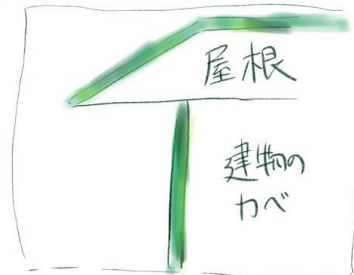
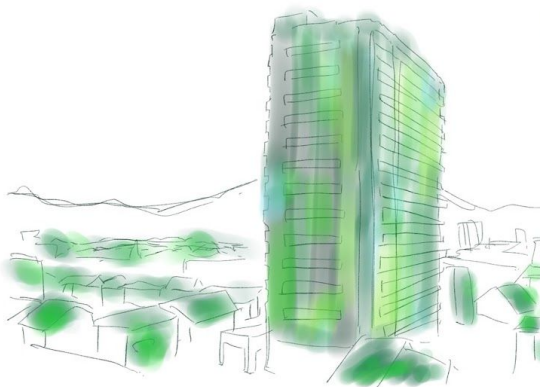
微生物により、掃除いらずに！

風呂の微生物も調整できる。

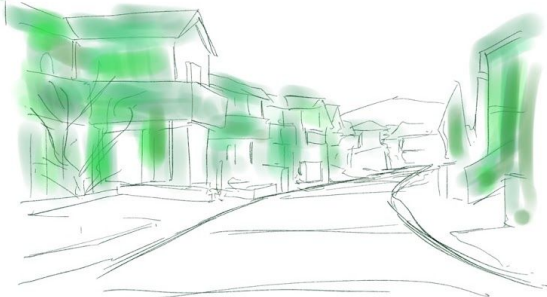


微生物インフラの街での利用

屋根、壁面に微生物
を張りめぐらせた町並。



光合成やエネルギー生成
を担う。



微生物によるフィルターが街に溢れているイメージ。

木々、植物ではなく、街並みが緑がる感じを描きたい。

これだとありきたりなので、もっとリアルに突き詰めた景観を一枚示したいというのが本音です。

華→光合成菌入りの管を張り巡らせた都市というのはいいですね！各家庭のトイレの排泄物から、メタンガスを回収して、庭にまく堆肥までできるというのが家電になっていると下水管いらずで災害に強い都市になりそう。

中→この辺りを説明的でもいいから盛り込みたいです。。。授業シーンに入れ込んでみようかと。

華→洗剤で全ての菌を殺すという現在の発想から、脂肪を分解する酵素（現在も入っているはず）と臭くする菌を抑制する複数の微生物が入ったカプセルを洗濯機に入れるという発想でいけそう。

実はEM菌 (<https://www.emro.co.jp/what/>) という物が自治体を取り込んで既になりに生活に浸透しています。学術的な根拠を示さずに製品ばかりを無知な市民に売りつけていて、科
学者から非難されているので、これを助長する内容になってしまうと残念だけど、でも複合菌の力で色々環境を良くしようというコンセプトは間違っていないです。

華→トイレとお風呂は微生物を微生物で制せそう。エアコンから微生物吹いていたら、アレルギーになってしまいそうなのでNGかも。

華→トイレに微生物センサーが付いていて排泄物から腸内環境を推測して、どういうものを食べたら良いとか、微生物カプセルのどの種類を飲んだらいいか言ってくれるという機能があってもいいと思います。

中→トイレの便で判別。これ納得感あるので体内ナノマシンから文面差し替えますね。

微生物バトルシステム

身体をつかった微生物をモチーフにしたARバトルゲーム

微生物バトル
体も使う, AR競技

微生物の戦いを拡大して、
キャラ化したようなバトルゲーム
ex) 微生物Aは 微生物Bをやっける
微生物Cは氷辺で大量に
微生物DはEと一緒にかがき輝く。



微生物の特性、人間に与える影響を、
オーバーにしたかんじ。

HADOというVRゲームを参考にしています。※ひどい絵だけですみません><
<https://meleap.com/pvp/>

これをGoogleつけずに、かつ、キャラの見た目をゲーム上のものに変更した上で戦う感じ
です。

武器やアイテムの種類が豊富で、カードゲームのデッキみたいに使うものをカスタマイズし
ます。

この武器やアイテムが微生物の名前と特徴を借りたものにします。

ここで微生物の特徴やオモシロを伝えたいです。

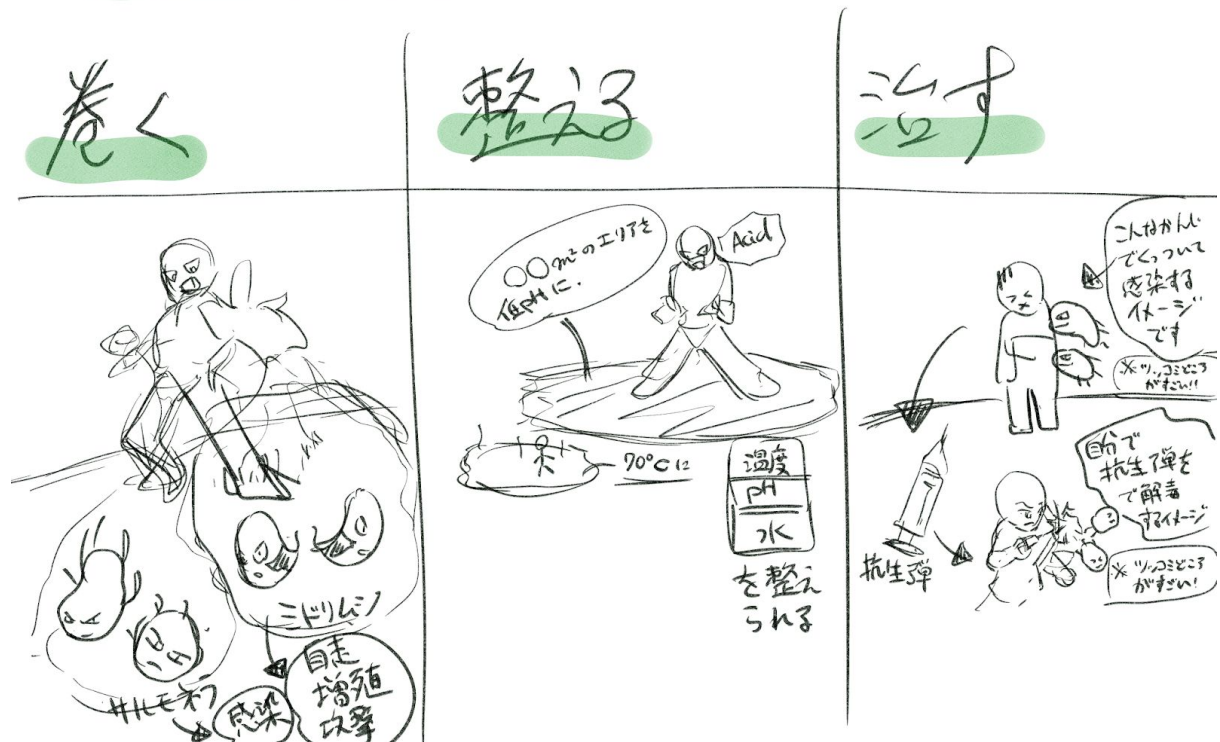
華→仮想空間で病原菌を巻きあって、症状から治療薬を選択しあって直しながら戦うとか？

もはや医者いらずのAIの世界で子供もバーチャルで医者気分を味わえるとか。

中→お互いに治し合いながら戦う...これ面白いです！

・微生物バトルに関するラフ資料

微生物バトル①

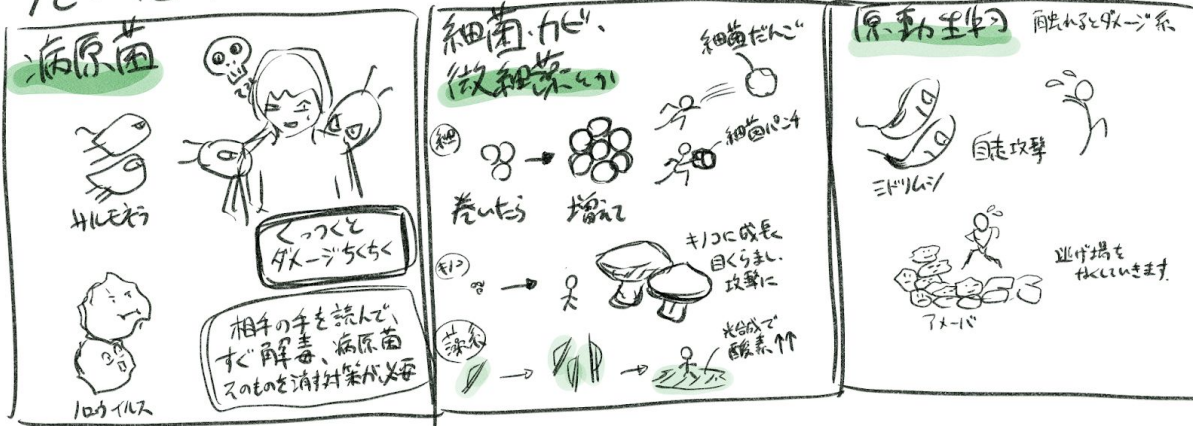


微生物バチ②

巻くについて

基本巻くだけで、
巻いた後は制御不能です。

微生物は
もうやめよう
デカゲイニますね(汗)



微生物バチ③ 整理

フィールド情報を整理する

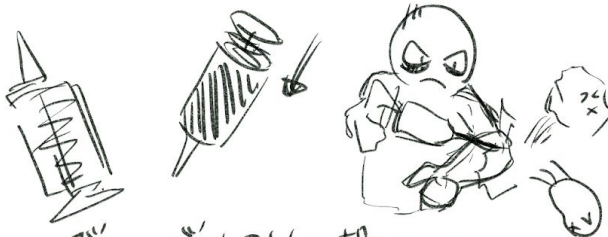


微生物バトル④ 治す

体についた病原菌、ウイルス
を取り除く、が正確かも。

HPを回復するわけではたいてい

抗生薬はいつでも使えます



抗生薬に薬をこめて撃つ!!

病原菌、ウイルスごとに
効く抗生薬が異なる。
早めの治療が重要

同じウイルスをくらいつぎると、
抗生薬効かなくなったりします。
つまり、たかたかたかたかたか

微生物バトル⑤ ルール

回復はない。

- HP (ヒットポイント) 制 ①にめたら負け。
- 物理攻撃 (微生物パンチ
自走するミドリムシアタック)
や
毒ダメージ (病原菌、ウイルスの感染)
に
でHPを削っていく
- ラウンド制 (1分6ラウンドとか)
- ラウンド毎に、開始時プレイヤーが
フィールドをセットする。サブ権のよに交互に。
- カードゲームのように使う微生物データを
組んでおく。セットできるデータ数は40 (仮)
- 1ラウンドにいくらでもデータ使えすが、たかたたら走り回ることかできません。

微生物バトル⑥

極限フィールド

ゲーム中1度だけ強制的に全フィールドを上書きできる。フィールド毎に1度

- 熱↑
- 酸性↑
- 塩↑
- 放射線↑

フィールドが極限フィールド

全微生物を強制リセット

各々で生存できる微生物は限られている。

後にデバッグ用として微生物でactionを起す

微生物バトル⑦

AとCの戦いパート

Aの敗北戦

CはAを分析(しお)。Aの戦術、極限フィールドも読んでいた。スレ負ける

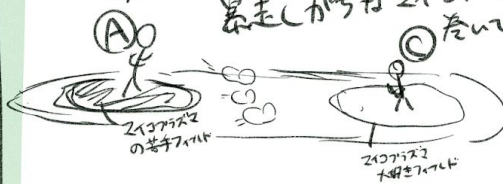
Aは近距離に特化したアタッカー型 (基本防御で遠距離で戦うディフェンス型)

AのリベンジスレA

Aは攻めすぎたように動く。

極限フィールドもA.Cとにうまくいく。

Aはとっまきのマイクロプラス2のデータを手にしていた。フィールドをうまく調整し、暴走しがちなマイクロプラス2を



* マイクロプラス2のデータは難いトレーニングを受講してテストに受かることで手に入る。



近距離型、遠距離型等戦い方を選べる。性別差や年齢、障害の有無をならして

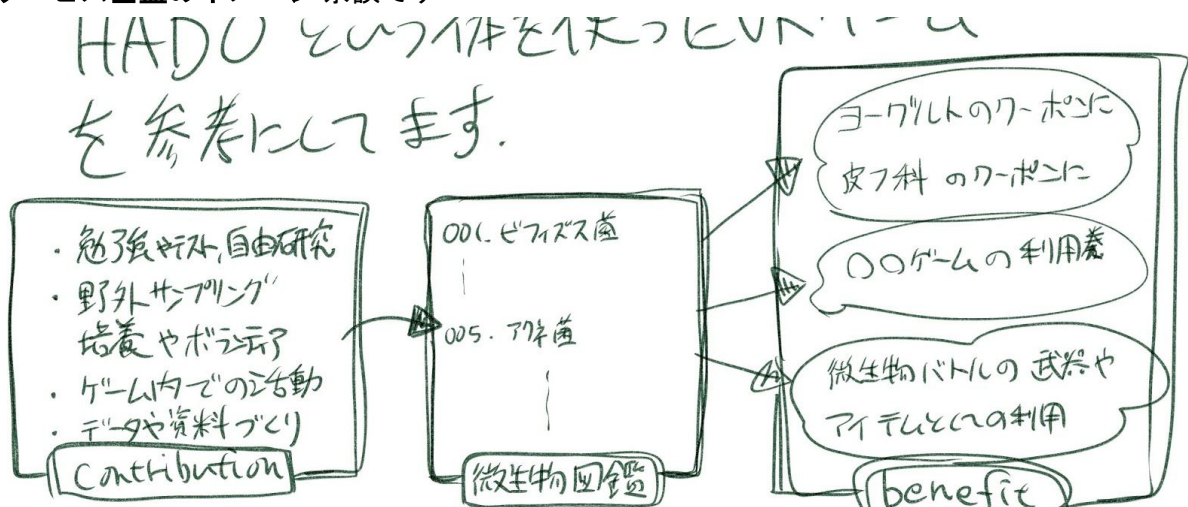
遊べるゲームとして成立している。

物語で少し登場予定のプロバトラーは車椅子です。

→おしゃべりな若者に変更予定。車椅子設定はちよいと余計だと判断。

微生物バトルそのものを支えている

サービス基盤のイメージ 余談です



現実、ゲーム内問わずに貢献すると微生物データが手に入る感じ。

現在のスマホゲームはゲーム内の努力、課金でデータを手にいれる。その次という感じ。

現実、ゲーム問わずの貢献が微生物データに引き換えられ、バトルだけでなく、生活の様々な場面で利用可能なサービスインフラになっている。

一種のお金でもあり、中国の信頼度を溜めるシステムと似ている。

世の中にこんな仕組みがあるという大前提を定めておくだけの役割です。

ここは細かく物語で触れないつもりです。

主な登場人物

・ A 主人公

小学5年生の女の子。

負けず嫌いで、勝つことが大事。

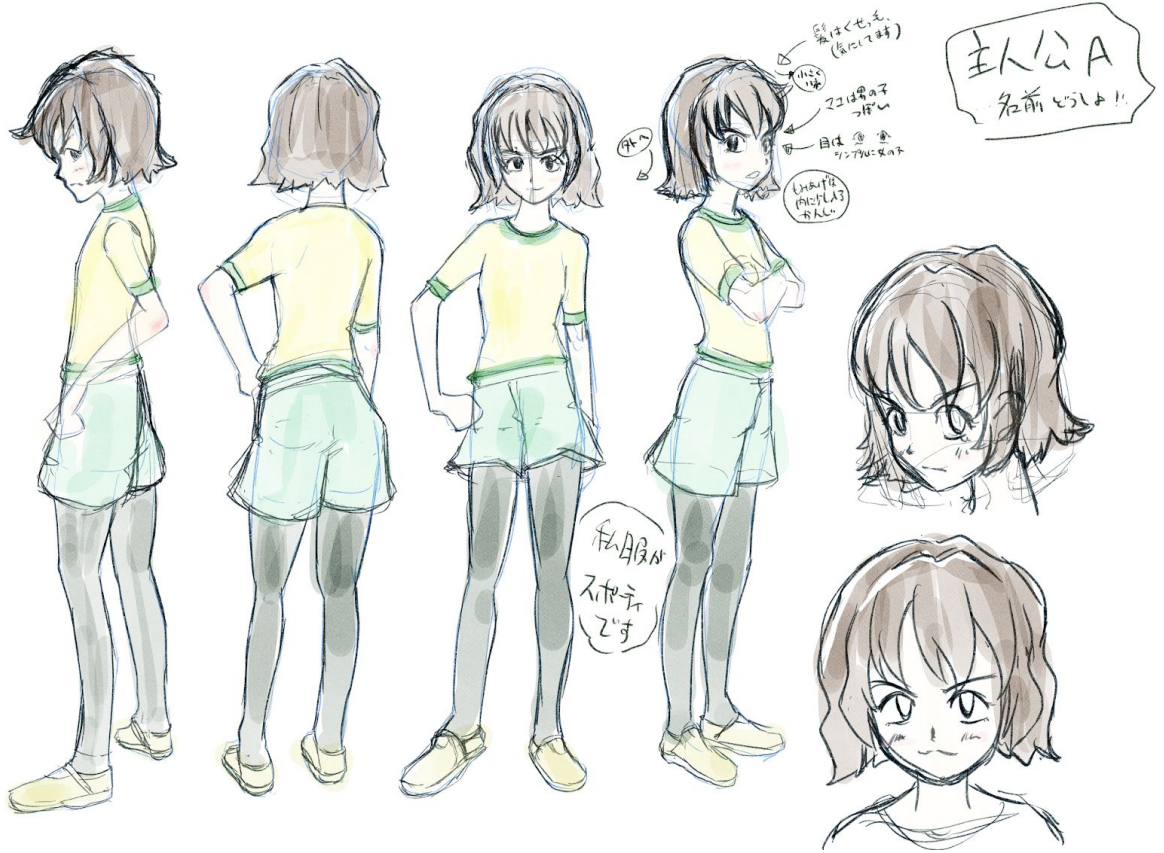
負けず嫌いで、ここまで何事にも

負けないようにがんばりつづけてきた。

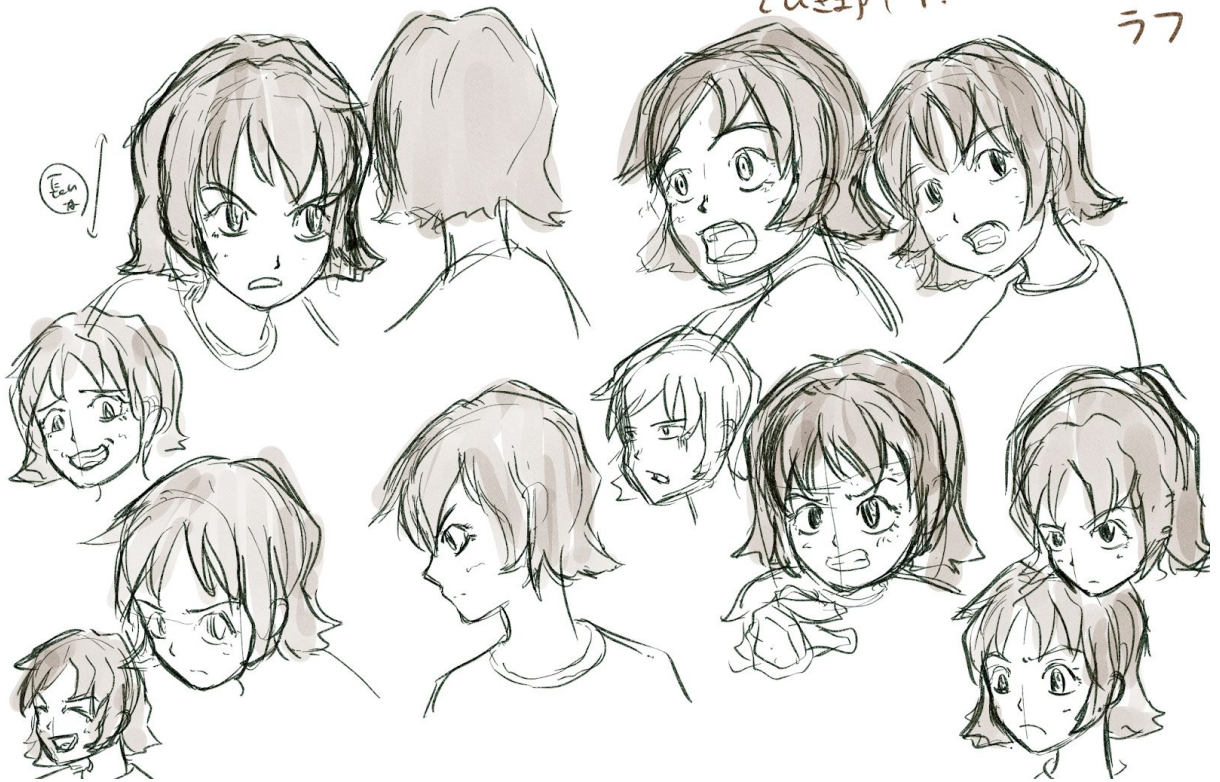
学級委員を任されており、本人も得意げ。

微生物バトルに精を出しており、前回の県大会では見事優勝している。

父と母はともに公務員。一人っ子。



表情豊かきょう A. バストショット
でいっ封 ラフ



・ B 主人公の幼なじみ
小学5年生の男の子。

温厚でマイペース。何か作るのが好き。
 Aとは幼稚園からの仲。
 苦手なことをあまり頑張らないタイプで、
 好き嫌いがはっきりしている。
 弱音とも聞こえる苦手なことを
 プライドなく口にしてしまう。
 運動は苦手だな、といった感じ。
 運動会よりも文化祭で力を発揮する。
 父は微生物インフラサービス会社のそこそこ偉い人。
 母は書道教室を持つ半分主婦さん。
 一人っ子。
 主人公Aのことを気にかけている。
 同じマンションなのでいつも登下校は一緒。

基本的にグレー、ブルーが色味
 マジックのグリーン。Aにはアガボットに似た



主人公Aの印象
 B



・C 転校生

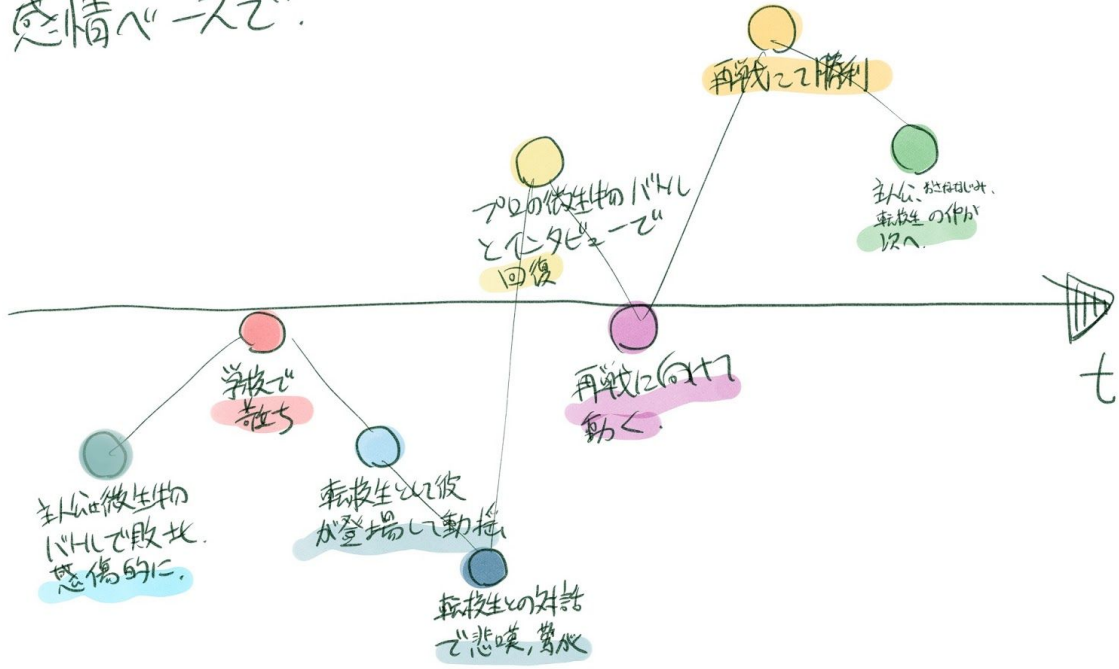
小学5年生の男の子。
 優秀でクールなキャラクター。
 ポーカーフェイス。口元くらいしか表情にでない。
 目的のために行動することを第一にしている。
 小学5年生っぽくないほど合理的。
 医者を目指している。
 近年の医療への微生物利用に関心があり、
 医者を目指しつつ、微生物医療の研究者になろうとしている。
 医者、研究者を目指すべく、質実剛健につとめ、

微生物関係に関しては誰よりも先を行くように努めている。
都内から主人公たちの街に転校してくる。

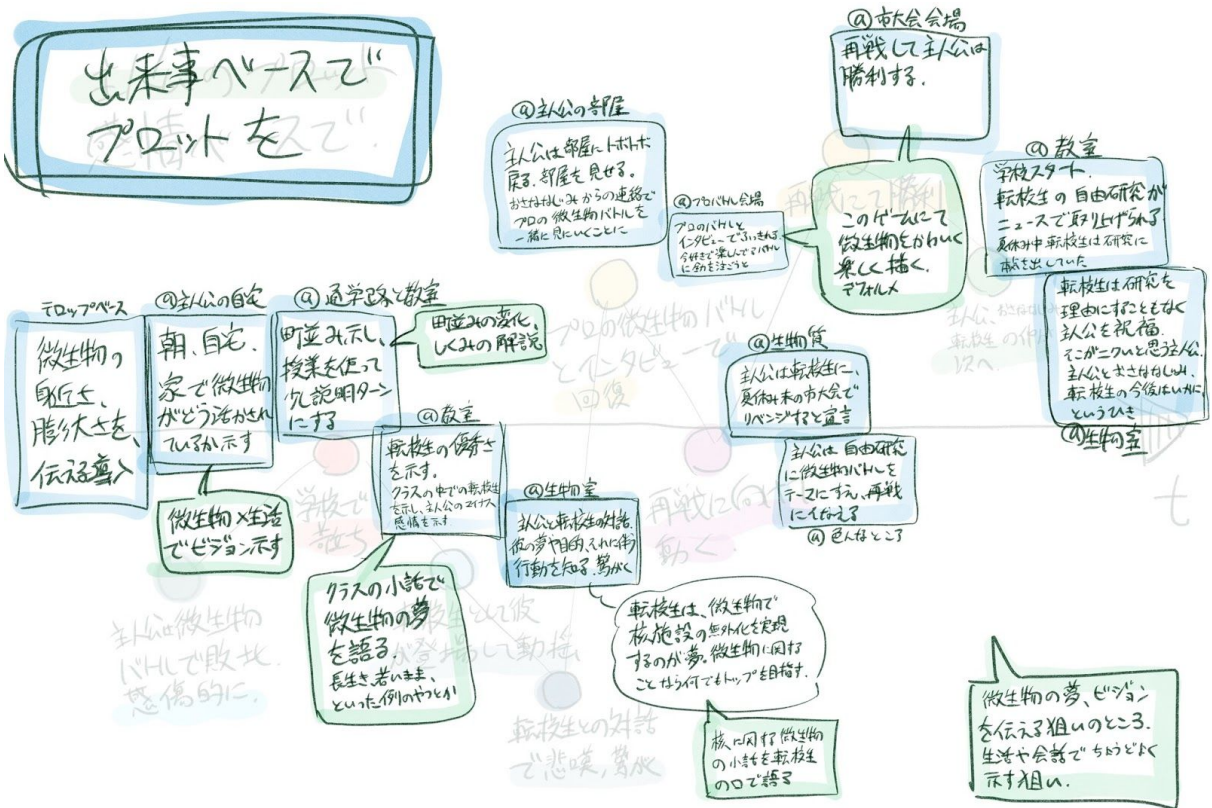


ストーリーライン

主人公のプロット 感情ベースで。



出来事ベースで プロットを



ストーリーライン概要

負けず嫌いの小学5年生女子の主人公Aが
微生物バトルでCと戦い、負けを知る。

Cが転校生としてやってくる。

Cに勉強も運動も叶わない。

AはCが夢、目的を持って微生物バトルを始めとした微生物関係に精を出していることを知る。

Aは夢や目的がない自分に沈む。

BはAをプロリーグの微生物バトル観戦に招待する。

そこをきっかけにAは立ち直り、Cに再戦を挑む。

再戦して勝利する。

人と比べすぎない。誰もが夢や目的、志があるわけではない。

このことを教訓に、

AとBとCは肩を並べ、微生物研究部として活動し始める。

プロット

1.導入

微生物はこれだけいるというフックを示す。

微生物が身近で、謎で、壮大だと伝える。

2.微生物バトル会場

主人公とライバルCのキャラ見せをする。

微生物バトルってなんじゃいというフック。

A（主人公）は微生物バトルの県大会決勝で連覇を狙う。

そこでCが対戦相手に。

3.Aの家 日常的朝

微生物の家庭利用を読者に示す。

ここで家電利用等を生活感とともに示す。

4.通学路

街を示し、昨日のバトル結果を読者に示す。

緑がかった町並みを描く。

主人公Aと幼なじみBの関係を読者に示す。

主人公が元気ない様子を読者に伝える。

読者にはこの主人公の感情に共感してもらいながら、

物語を体験してもらう。

例えばのやりとり)

学校近くで同級生「おはよ！準優勝さん！」

同級生「優勝おめで、、、あ、ごめんごめん」

A 怒り（私がイライラするってわかっててやってるな、、、）

B「A、おはよ。 どう？よく眠れた？」

A「おはよ。寝つき悪かったわ。でも何で？」

B「いや、昨日の決勝のこともあったしな、と思って」

.....

5.微生物の授業

微生物インフラの概要と身近なサービス例、
建物側面の微生物壁について読者に伝える。
黒板で授業を受けてる感じで伝える。

6.休み時間の教室にて

机に突っ伏して寝る主人公。
クラスメイトの会話が聞こえてる描き方。
クラスメイトの会話で微生物を使った
ビジョンを読者に伝える。

例えばの会話例)

ある生徒がスマホで動画を見ながら

「微生物で見た目が若いままに出来るかもだってよ！」

「この若いユーチューバーさんが

「若者の唯一の価値は若い見た目だったのに

それが崩れるんですよ！

知識と経験で大人にかなわない僕らはどうすりゃいいんだー」

って言ってるけど。」

「あ、その人いつもマイナスなこと言って

炎上する人でしょ？

でも父さんと母さんが小学生みたいな

見た目だったら、、、やだな。。。」

7.転校生Cの登場

休み時間が終わり先生が教室に。
転校生を紹介する。
転校生Cは先日主人公が微生物バトル県大会で
負けた相手だった。

ここでは主人公の動揺を直接読者に伝える。

8.転校生はすごい

先日の県大会で優勝したこと、
以前自由研究で有名になったこと、
これらを読者に伝え、主人公Aのイライラを見せる。

クラスメイトが転校生の周りに集まって

「転校生すごい」

というやりとりをした後で、主人公Aにたいして

「強敵出現だなA」といった感じで煽るシーン。

9.生物室にて対面す

放課後に主人公は転校生に
微生物バトルの再戦を申し込むために探す。

生物室にて対面する。

10.なぜ生物室に？

Cは微生物研究部を作ろうとしていた
前の小学校で活動していた。

主人公は再戦を申し込む前に転校生が
なぜ微生物研究部を？という対話をしていく。

11.主人公A沈むきっかけ

主人公は転校生の凄みを知ってしまう。
転校生には微生物で原子力発電所の問題に
蹴りをつけるという大志があった。
そのために微生物に関することでは1番を目指している。
何れ研究するために勉強も一流で、本格的な
自由研究で何度も表彰されている。

再戦を申し込む気になれず、自分が何も考えずに
微生物バトルに勤しんでいたことに悩む。

12.とぼとぼ帰宅 BがA回復のきっかけを作る

帰ってきてベットに入る。
Bに放課後の約束を断る連絡入れる。思い出した感じで。
部屋でしょんぼり。Bから連絡が入る。
既読する。直後Bから電話が来る。
通話でBがプロ微生物バトルの観戦を誘う。

主人公Aが悩める女の子であるところを読者に示し、
Bとのやり取りで身近さを感じてもらう。
Bのキャラをラインのやり取りだけで示す狙い。

13.プロ微生物バトルを観戦

最初は乗り気じゃないけど夢中で観戦する主人公、それを見て嬉しそうな幼なじみBを描く。

14.プロのインタビュー

好きで好きでずっとやってきて、周りは辞めちゃったけどそれでも続けてみて、今があります。
と言ったインタビューを示す。

15.生物室 再戦申し込み

主人公が転校生に再戦を申し込む。
夏休み最後の市大会で戦おう、と。

16.自由研究のテーマを微生物バトルに

夏休みの頑張りを示す。

17.再戦

18.教室にて転校生の研究が話題に
Cに勝って上機嫌の主人公が教室に入る。
しかしクラスは転校生の話題で。
どうやら夏休みの自由研究がまた話題になっているそう。
近いうちに取材を受けるとのこと。

19.生物室 対面する

主人公はBと一緒に生物室へ。
Cが素直に祝福してくる。
いっそ研究を言い訳にしてくれる方がいいのに...Cが憎いほどできたやつだってことを示す。
Cは重ねて主人公の自由研究を褒める。その上で主人公とBを微生物研究部に誘う。
主人公と転校生はあーだこーだ言いながら、Bはそれを見守る。その構図で終わり。

脚本というかメモ

1.導入文

全ての生命の祖先、微生物
地球上に～種の微生物が存在すると言われている。

人間の体に一一の微生物が存在している。

普段意識しないが身近な彼ら。

実はその10%しか明らかになっていない。

2.キャラ見せ @微生物県大会決勝会場 バトル後

司会「第一回一県微生物バトル小学生の部優勝はC選手だ！！」
観客「ワー」

核の絵

バトルのラスト絵

Cのキャラ絵

主人公のキャラ絵と表情

3.生活見せ @Aの自宅 朝

A「おはよ」

母「おはよ。寝坊なんて珍しいんじゃない？」

A「...お父さんは？」

母「今日は出張で早いんだって」

A「ふーん...朝ごはんいいから。」

母「そう。じゃあこれは飲んで行きなさい。」

母「今日の微生物スムージーは～～が多めだって。～～って胃に優しいみたいね。」

母「行ってらっしゃい！帰りにトイレ綺麗にするやつよろしくね！」

A「微生物トイレクリーナーでしょ？行ってきます。」

核の絵

部屋の壁にある微生物による石油生産量をモニタリングするパネルのアップ

微生物スムージー

4.町並み見せ 幼なじみB登場 @通学路 朝

B「おはよ。寝不足？」

A「うん...ぜんっぜん寝れなかった...」

B「大会、惜しかったね」

A「自分がこんなに引きずるタイプだって始めて知ったわ。だいたいあいつ誰よ？去年いた？」

B「いなかったと思うよ。気になったから彼のこと調べてみたんだ。」

A「ふーん...」気になってる感じ

B「C僕らと同じ五年生だね。去年自由研究で都の表彰を受けてるみたいだね。すぐ情報出てきたよ。」

A「なんで都会っ子がうちの県の大会出てんのよ...」ぬぐぐぐ

クラスメイト悪ガキ1「よ、A！優勝おめでと

」

クラスメイト悪ガキ2「違うよ。そこは準優勝おめでと、だよ」

A 不機嫌に睨みを飛ばす

2人は走って学校へ

A ため息というか、ちょい沈んだ顔

Bそれをよくよく観察してる感じ

核となる絵

街の景観

AとBの表情、身振り手振り

5.舞台の説明解説 @教室 微生物関係の授業

核の絵

黒板のモデル図

6.Aの様子見せと微生物話 @教室 休み時間

核の絵

AとBの2人 セリフだけ入る感じで教室感を

7.転校生C登場 主人公は動揺する @教室

諸事情あって3時間目に紹介します。転校生のCくんです。

C「Cです。よろしくお願いします。」

ざわざわ

核の絵

Aの反応 Cのキャラ

7.5転校生すっごーい 水泳の授業 @プール

A「はあ〜」ため息

B「それはプール嫌ってため息？それとも...」

クラス女子「Cくんかっこいいよね」ヒソヒソ

視線集めてもクールなキャラって絵

A「どっちもよどっちも！」

A「せっかく家で纏った微生物が流れちゃうし、シャワー寒いし...その上アイツよ！あのすまし顔が気に入らないわ！」髪をいじる 癖っ毛なので

B「まあまあ」

核の絵

集団の中のCのキャラ

8.日誌渡し、先生の依頼で生物室へ @職員室

先生「はい、受け取りました」

先生「A、生物室に寄ってもらえる？」

A「？」

先生「Cにこれ渡して欲しいの。今いるはずだから。彼面白いわよ〜」

A「なんで私が...」

先生「...あなたが学級委員だからよ」

A「え〜納得できない...」

先生「お願いね〜」

A（ま、再戦申し込むのにはちょうどいいわね）

9.AとC対面 Cのお話 @生物室

A「はいこれ。先生から。」

C「ありがとう。」

.....

核の絵

妥当なマウント取ってくる人を前にしてざわつく感じを描くところ。

10.Aは驚愕 再戦切り出せず立ち去る @生物室

A「す、すごいわね。じゃあ頑張ってるね。」

引きつったニヤニヤ笑顔で

クラっとくる。

A（私、どんな顔してた...再戦なんて切り出せなかった...）

11.帰宅 部屋で沈むA AとBのLINE @Aの部屋

ベッドに飛び込む

抱き枕抱えてスマホ操作

買い物忘れたと気づく

再戦なんて切り出せなかった

なんでバトルやってんだろって、なんで負けたくないんだろって、悩む

Bからのライン（今どこ？もういるけど？）

Aのライン（ごめん。行けなくなった。スタンプ。）

B既読 電話 びくっ

B「もしもし？今大丈夫？」

A「うん。ごめん、ゲーセン誘ったの私なのに」

B「大丈夫だから。また今度行こうよ。」

A「うん。」

...

B「今度微生物バトルの試合見に行かない？——さんの！」

A「あ...」

B「父さんからチケット二枚もらったんだ。今度の日曜なんだけど」

A「うん。行く、行こう！ありがとう。」

12.プロのバトル @バトル会場

13.プロのインタビューと帰り @会場と帰り道

司会「おめでとうございます」

プロ「ありがとうございます」

司会「プロリーグに入ってから大活躍ですね！」

プロ「ありがとうございます」

司会「今日も沢山のファン、後輩プレイヤーたちが集まっています。一言お願いします。」

プロ「...はい。まず、応援ありがとうございます。——この前中学生のプレイヤーにこんな相談を受けました。（僕は微生物バトルが大好きです。よく一緒に遊んでた友人たちはみんなやめちゃいました。僕はどうしたらいいでしょう）

続けて欲しいです。というのも僕も同じような経験を当時したんです。部活や勉強で忙しくなってきた、他に面白いこと見つけて...みんなやめちゃったんです。

でも僕は続けました。もちろん部活と勉強もやりましたよ。こう見えても陸上部ですから。細く長くでもいいから続けて欲しい。

別に将来プロの微生物バトラーになるんだ、なんて目的がなくてもいいと思います。好きなことを、補足でもいいから、続けて欲しいですね。

それに学校の外に出ると意外と好きで続けてる人がいるんですね。これは微生物バトルに限ったことではないのですが。

僕は中学の大会で出会ったヤツとまだ仲がいいし、そいつは微生物バトルをキッカケに今は——の研究してます。いや～こいつとはまだバトルする仲で...」

カンペ「押してます、巻いて巻いて」
アナウンサー「――選手、最後に一言を」
プロ「あ、はい...―――なんかそれっぽいの」
司会「――選手、ありがとうございました！」
ワ――

核の絵

おしゃべりなキャラのプロ
聞き入ってるAとそれを見て安堵するB

14.AがCに再戦を宣戦布告する @生物室

A「C！」

C「...」

A「微生物バトルのリベンジ、させてちょうだい！」

A「夏休みの最後に県西大会あるでしょ？そこでバトルよ！」

C「...わかった。」

A「く～張り合えないわね！！すっぽかさないでよね！！」

15.自由研究としてバトル探求 @色々 夏休み

自由研究のテーマを「微生物バトル」に据えて、Bと共同で研究を始める

核の絵

研究してる感じの絵...って何だろ

夢中なAと手伝ってる感じのB

16.AとCの戦い 終幕 @県西大会決勝 夏休み最後

司会「微生物バトル――県南大会も大詰め最終ラウンドだ！」

「A選手、C選手共に極限フィールドは使用済み。両者とも残りHPと微生物もあとわず
か。」

.....バトルプロット

司会「優勝はA選手だ～」

ガッツポーズ絵

核の絵

バトルのマイコプラズマさん

弾けたAの顔

17.教室でCが話題 @夏休み明けの教室

AとB教室へ

ワイワイ、ガヤガヤ

クラスメイト「これ見てみて！」

Cの自由研究が――賞を受賞のニュース

A「さっすがCね。やるじゃない。」

...

18.CがAを祝福 @生物室

AとBが放課後生物室へ

...

C「優勝おめでとう！」

A「ありがとう」

A（く～ここで自由研究で忙しくなかったら負けてなかった、とか言われた方がマシだわ！！）

B「Cの自由研究読んだよ！大学生も顔負けのできだっけね」

C「ありがと。僕も2人の研究読んだよ。微生物バトル必勝（自由研究のテーマが入る）。調査が網羅的で、しかも検証がきめ細かで。すごいいい研究だと思ったよ！」

B「あ、ありがと。」

C「微生物研究部を立ち上げるんだ。もちろん微生物バトルの研究もオッケー。2人に入ってもらえたら嬉しいんだけど、どうかな？」

B「僕はいいと思うんだけど、A、どうかな？」

A「いいんじゃない？」

B「ほんと？」

A「もーなんでも私に聞かないでよ！好きにして！」 少し嬉しそう

BとCがアイコンタクト、笑い。

C「で、あの自由研究、主にどっちがまとめたの？」 Bの顔見ながら

.....

A「あんた分かってて言ってるでしょ？そうよ、Bがまとめました！まとめてくれました！ありがとうございます～」

クスクス

A「何よあんたら！く～ムカつく！！」

19.ラスト